



木曾三川流域エコネット応援団

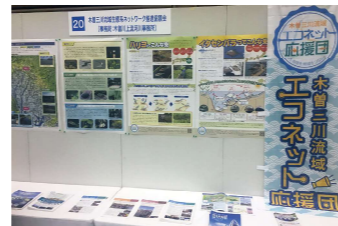
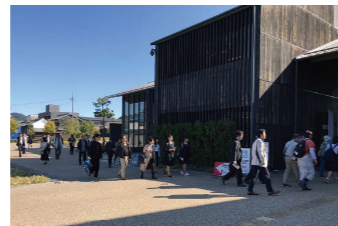
「木曾三川流域エコネット応援団」は、木曾三川流域で活動される(または参加・協力・賛同される)地域の皆さんを、つなげるしくみです。希少な動植物の保護、重要な生息場の環境整備、調査・研究、自然環境保護に関する広報・啓発活動など、参加団体の皆さんによるさまざまな活動が、木曾三川流域の生態系ネットワークの形成を支えています。

木曾三川流域エコネット応援団 参加団体一覧(敬称略)

2026年3月現在

No.	分類	団体等名称	No.	分類	団体等名称
01	市民団体等	NPO法人 森と水辺の技術研究会	36	学校・教育施設	岐阜協立大学
02		笠松の自然と共生を考える会	37		岐阜大学 ESDクオリア
03		東海タナゴ研究会	38		愛知県立一宮高校 生物部
04		はりんこネットワーク	39		愛知県立木曾川高等学校 総合実務部
05		西之川ハリヨ保存会	40		愛知県立一宮商業高等学校地域貢献部
06		加賀野名水保存会	41		岐阜県立大垣東高等学校 理数科ハリヨ班
07		曾根町ハリヨ・ホタル保存会	42		岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班
08		表佐ハリヨ・ホタル保存会	43		岐阜県立池田高等学校
09		一般社団法人 ClearWaterProject	44		岐阜県立羽島高等学校
10		ピオトープネットワーク中部	45		一宮市立尾西第一中学校
11		池田町上八幡ハリヨを守る会	46		一宮市立起小学校
12		大垣市環境市民会議	47		羽島市立足近小学校
13		尾張北部生態系ネットワーク協議会	48		羽島市立小黒小学校
14		尾張西部生態系ネットワーク協議会	49		羽島市立正木小学校
15		ヒダサンショウウオ研究会	50		羽島市立中央小学校
16		mizube38あおみどり	51		羽島市立福寿小学校
17		NPO法人 緑の森のシンデレラ	52		羽島市立竹鼻小学校
18		NPO法人 生態教育センター	53		羽島市立堀津小学校
19	民間企業等	株式会社フォーラムホテル	54	行政機関	羽島市立中島小学校
20		尾西信用金庫	55		羽島市立羽島中学校
21		三井住友信託銀行株式会社一宮支店	56		羽島市立竹鼻中学校
22		株式会社十六銀行	57		羽島市立中央中学校
23		生活協同組合コープぎふ	58		羽島市立中島中学校
24		中部電力株式会社	59		羽島市立桑原学園
25		中日本冰糖株式会社	60		池田町立八幡小学校
26		サンメッセ株式会社	61		神戸町立南平野小学校
27		株式会社大垣共立銀行	62		愛知県
28		加藤建設株式会社	63		岐阜県
29		株式会社川瀬組	64		一宮市
30		株式会社國井組	65		岐阜市
31		近藤建設株式会社	66		大垣市
32		株式会社吉川組	67		羽島市
33		世界淡水魚園水族館アクア・トトギス	68		羽島市歴史民俗資料館
34		動物園・水族館	69		瑞穂市
35		碧南海浜水族館	70		海津市
	名古屋市東山動物園	71	養老町		
		72	輪之内町		
		73	垂井町		
		74	池田町		
		75	神戸町教育委員会		
		76	農林水産省東海農政局農村振興部農村環境課		
		77	環境省中部地方環境事務所野生物課		

「木曾三川流域エコネット応援団」では、事務局による地域の皆さんの活動への支援(定期的な情報発信等)のほか、交流会「エコネットカフェ」を開催するなどし、活動情報の共有や意見交換・技術交流を図り、地域の協働による取り組みのさらなる発展を目指しています。



交流会エコネットカフェにおける意見交換

参加団体の皆さんによる取組発表

参加団体の皆さんとの現地学習会

地域行事への広報啓発展示

木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会
【事務局】 国土交通省 木曾川上流河川事務所・木曾川下流河川事務所
【問合せ先】 木曾川上流河川事務所 流域治水課 (058-251-1125)

SNSで情報を発信中!



生態系ネットワーク形成の推進による 木曾三川流域における自然も心も豊かになる地域づくり

取り組みレポート 2025

～第2期推進計画の取り組み成果～



生態系ネットワークとは、貴重な自然を保全するとともに、孤立分断している自然を連結し、自然の働きを回復させることによって、多様な生き物と生態系を守り育み、併せて地域づくりにもつなげていくものです。(木曾三川流域生態系ネットワーク全体構想より引用)

木曾三川流域生態系ネットワーク推進の取り組み

～これまでとこれから～

木曾三川流域生態系ネットワーク推進協議会は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の研究者・市民団体・自治体・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

この取り組みでは木曾三川流域を大きく4つのエリア（「氾濫原」、「湧水帯」、「本川・支川」、「扇状地」）に区分し、エリアごとに自然と文化を活かした取り組みが推進されるよう、国や自治体、地域関係者が集まって協議を図っています。

氾濫原エリアではイタセンパラ、湧水帯エリアではハリヨ、本川・支川エリアではニホンウナギをシンボル（指標種）として、地域住民、NPOなど活動団体、企業、行政等の様々な人や組織が協働により、取り組みを行っています。このレポートでは、第2期推進計画（2021～2025）におけるこれまでの取り組みと今後の展望をとりまとめます。



イタセンパラ等がすむ氾濫原の取り組み推進

●これまでの取り組み 氾濫原環境の保全・再生のために、木曾川、揖斐川、犀川遊水地周辺で取り組みを行っています。木曾川では、ワンド整備を実施し、イタセンパラの継続的な生息を確認しました。また、域外保全個体の試験導入を継続的に実施しています。揖斐川では、ワンド整備を進めており、モニタリング計画の策定を行いました。犀川遊水地周辺では、瑞穂市と連携した湿地整備について検討を行いました。

●これからの取り組み これまでの取り組みを継続するとともに、地域住民等を主体とした地域の連携を進展させることで、氾濫原ネットワークの向上を図ります。



環境学習会



イタセンパラの水槽展示

氾濫原

湧水帯



地域によるハリヨ生息地の保全活動



水中動画撮影の技術的な支援

3つのエリアでの取り組みと協働による取り組み推進

ニホンウナギ等が行き来できる連続性確保の取り組み推進

●これまでの取り組み 本川、支川、堤内地の連続性確保のため、令和元年度からパイロット事業を実施し、令和5年度にニホンウナギ生態系ネットワーク推進計画書を策定しました。計画書では現状の課題に対応した解決のための事業メニューを設定し、ウナギの生息実態に関する調査・情報収集、石倉かご調査体験、パネル・チラシ展示やSNSによる広報活動を行いました。

●これからの取り組み 令和5年度に策定した計画書に基づく取り組みを継続・推進するとともに、木曾三川の生態系から生み出される川の幸や伝統的な食文化等の継承を通して地域の魅力の向上を図ります。



パネル展示状況(水と緑の館)



石倉カゴ調査体験

本川支川

協働推進

地域協働による取り組み推進検討

●これまでの取り組み 地域の様々な団体等が参加する「木曾三川流域エコネット応援団（以下、エコネット応援団）」の連携を促進するために、意見交換会「エコネットカフェ」を毎年実施しています。また、地域活動の連携・交流を図るため、情報発信（エコネットニュースレターやSNSを通じたエコネット応援団の活動や地域のイベントに関する情報など）や啓発活動（指標種や自然環境の魅力を伝える資料の配布など）を行ってきました。

●これからの取り組み これまでの取り組みを継続するとともに、取り組み成果の地域還元や効果的な啓発活動に注力して、地域での協働による取り組み推進について検討を進めます。



意見交換会「エコネットカフェ」の実施



イベントでの啓発活動

地域関係者による取り組み

～それぞれの活動が生態系ネットワーク形成を推進しています～

高校生と流域内外の地域の連携

羽島高校商業科とFC岐阜が協働して、イタセンパラをモチーフにしたお菓子やタオルなどを販売し、売上をイタセンパラの域外保全を行う世界淡水魚園水族館アクア・トトへ寄付しました。

一宮高校では、大会などで取り組みのポスター発表などを実施しています。池田高校は、地域のハリヨ保全団体と協力しハリヨ生息地の環境改善活動を実施したり、イベントでハリヨなどの啓発活動を実施しています。



羽島高校商業科によるイタセンパラをモチーフとしたお菓子などの販売



池田高校と地域のハリヨ保全団体による一宮高校による取り組みのポスター発表
ハリヨ生息地での藻刈り

地域のお菓子屋さんによる啓発活動

シンボル（指標種）をモチーフにしたお菓子を製作し、販売することで、シンボル（指標種）の啓発活動を実施しています。（池田町、大垣市、羽島市、一宮市）



シンボル（指標種）をモチーフにしたお菓子



「ねえ～知ってる？イタセンパラ」の販売状況

サポーター制度による活動支援

羽島市では、イタセンパラ保護のため、イタセンパラサポーター制度を平成30年から継続しており、イタセンパラ塾等により地域の方と連携してイタセンパラの啓発から保護活動を行っています。



イタセンパラ塾での魚類採捕体験



羽島市イタセンパラサポーター募集チラシ

市民団体や企業による啓発活動

地元小学生に対する環境学習会やイベントでの出展により、指標種や環境に関する啓発活動を実施しています。



ハリヨを守る会（池田町）による地域の小学生に対するハリヨの学習会



イベントでイタセンパラに関する啓発活動を実施（尾西信用金庫）

ミュージカルによる環境保全の啓発

劇団シンデレラでは、イタセンパラやハリヨをテーマにした創作劇を公演し、環境保全の大切さなどを広く啓発しています。



劇団シンデレラによるシンボル（指標種）をテーマにした劇の公演（左：イタセンパラ、右：ハリヨ）

木曾三川流域生態系ネットワークの組織

～広域連携による取り組みの推進～

